

2026
10.29
thu 18:00-
参加無料・申込不要

市民公開講座 第149回分子科学フォーラム オンライン講演会
分子研YouTube & ニコニコサイエンス 同時ライブ配信！

固体と液体のはざまで
働く酵素分子を

見て、理解して、 作り変える

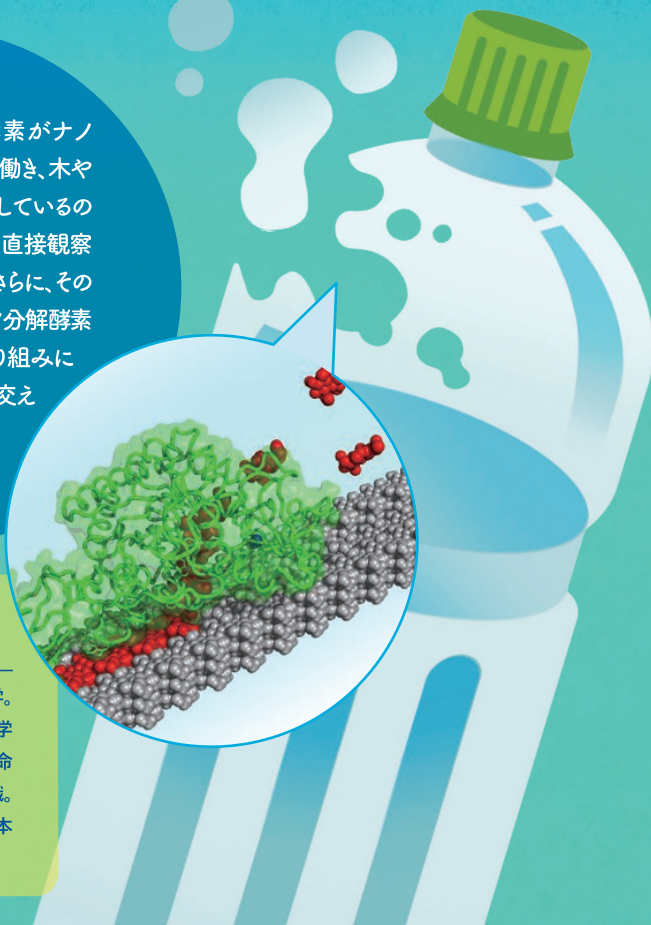
—1分子計測が明かす酵素の真の姿—

自然界では、微生物が木の主成分であるセルロースをセルラーゼという酵素によって分解し、



またカニや昆虫の殻に含まれるキチンをキチナーゼという酵素によって分解することで、炭素の循環を支えています。

本講演では、このような酵素がナノメートルの世界でどのように働き、木や殻のような固い固体を分解しているのかを、1分子計測技術による直接観察の成果とともに紹介します。さらに、その知見を活かしたプラスチック分解酵素の観察や機能改良への取り組みについて、最新の研究成果を交えながら解説します。



中村 彰彦

静岡大学農学部 応用生命科学科教授
静岡大学グリーン科学研究所教授

静岡大学農学部 応用生命科学科教授、兼、静岡大学グリーン科学研究所教授。農学博士。専門は酵素学。東京大学農学部卒、同大学大学院農学生命科学研究科 修士課程、博士（農学）（東京大学農学生命科学研究科）取得。岡崎統合バイオサイエンスセンター助教、分子科学研究所助教、静岡大学農学部 応用生命科学科 デニュアトラック准教授、分子科学研究所 クロスアポイントメント准教授を経て2026年より現職。2022年4月～JST 創発的研究事業 阿部パネル 2期生。日本応用糖質学会、日本生物物理学会、日本中性子科学会所属。生体・人工高分子分解酵素を研究。令和6年度日本応用糖質学会奨励賞受賞。

主催 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構
分子科学研究所

共催 公益財団法人 豊田理化学研究所

お問合わせ先 分子科学研究所 広報室

Tel:0564-55-7262 Mail:forum@ims.ac.jp

〒444-8585 愛知県岡崎市明大寺町字町西郷中38番地

詳細はwebサイトをご覧ください

分子科学フォーラム

検索



詳細について 下記URLよりご覧ください。

https://www.ims.ac.jp/research/seminar/2026/06/24_7073.html



イベント情報をメールでご案内しています。分子科学研究所ホームページまたはこちらのQRコードからご登録いただけます



分子科学フォーラムについて
市民の方々に分子科学やその他の分野の第一線の研究成果をわかりやすく紹介する講座で、1996年に開講し年4回（2008年までは年6回）開催しています。